

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究
分科会総括研究報告書

肝移植に関する研究

- 研究分担者 江川 裕人 東京女子医科大学外科学講座肝胆膵外科学分野 教授
研究分担者 長谷川 潔 東京大学医学部附属病院肝胆膵外科、
人工臓器・移植外科 教授
研究協力者 八木真太郎 金沢大学肝胆膵・移植外科 教授
研究協力者 赤松 延久 東京大学医学部附属病院肝胆膵外科、
人工臓器・移植外科 准教授
研究協力者 玄田 拓哉 順天堂大学医学部附属静岡病院消化器内科 教授
研究協力者 笠原 群生 国立成育医療研究センター臓器移植センター
センター長
研究協力者 小木曾智美 東京女子医科大学消化器内科 講師
研究協力者 上田 佳秀 神戸大学大学院医学研究科消化器内科学分野 教授

研究要旨：PBC 分担班、PSC 分担班と連携を取りながら肝移植の視点で調査研究を行う。
具体的には PBC 移植例の前向き登録研究、および PSC 後ろ向き登録研究に引き続き、PSC
移植例の前向き登録研究を行う。

共同研究者 吉住 朋晴（九州大学）
場合はオプトアウトにより家族による拒否の機会を確保する。

A. 研究目的

PBC、PSC の長期成績向上を目指す。

B. 研究方法

- 1) 現在進行中の PBC 前向き調査研究継続、
- 2) PSC 後ろ向き研究（令和 3 年 2 月論文掲載）
- 3) PSC 前向き研究または再発症例二次調査研究

（倫理面への配慮）

前向き研究においては個々の患者ごとに個人情報取り扱いについてすべて説明し承諾を得る。二次調査研究においては、原則的に個別に承認を得るが死亡などで不可能な

C. 研究結果

令和 3 年 1 月 20 日第一回肝移植分科会を開催した。分科会長江川裕人、副会長長谷川潔、八木真太郎、赤松延久、玄田拓哉、小木曾智美、上田佳秀、吉住朋晴の会員全員が出席した。

式次第

- 分科会長挨拶 江川裕人
- 自己紹介
- PSC 調査 東京大学 赤松延久
- PSC 新たな知見 神戸大学 上田佳秀
- PBC 肝移植後予後調査研究進捗報告 東京女子医大 江川裕人
- 今後の活動について

- 閉会挨拶 東京大学長谷川潔先生

D. 考察

- 日本肝移植学会と連携しながら、上田先生をチーフとして、肝移植患者におけるPSCの自己抗原の探索を多施設共同研究として進めていく。
- PBCの多施設共同研究に関しては江川先生をチーフとし、2016年以降の各施設の症例の積極的な登録をお願いする。倫理委員会の準備状況で多少の登録期間延長は可能であるので、倫理申請を進めていただく。オンラインでのデータ収集を工夫する。
- 各分科会との肝移植のキーワードで連携。
- 若手医師の分科会への参加を進める。

E. 結論

関連分科会と連携しながら研究を進める。若い内科の先生方に参加していただき肝臓移植に興味を持ってもらい肝臓移植内科医を育成する。

F. 研究発表

1. 論文発表

Akamatsu N, Hasegawa K, Egawa H, Ohdan H, Yoshizawa A, Kokudo N, Tazuma S, Tanaka A, Takikawa H. Donor age (≥ 45 years) and reduced immunosuppression are associated with the recurrent primary sclerosing cholangitis after liver transplantation - a multicenter retrospective study. *Transpl Int.* 2021 Feb 24. doi: 10.1111/tri.13852.

2. Genda T, Ichida T, Sakisaka S, Tanaka E, Mochida S, Ueno Y, Inui A, Egawa H, Umeshita K, Furukawa H, Kawasaki S, Inomata Y. Outcome of patients with acute liver failure awaiting liver transplantation in Japan. *Hepatol Res.* 2020 Oct;50(10):1186-1195.

3. Kumar D, Manuel O, Natori Y, Egawa H, Grossi P, Han SH, Fernández-Ruiz M, Humar A. COVID-19: A global transplant perspective on successfully navigating a pandemic. *Am J Transplant.* 2020 Jul;20(7):1773-1779.

2. 学会発表

該当なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし